

コロナ禍で文具店への影響鮮明に

3割が「訪店数が減った」と回答

なかなか新型コロナウイルス拡大感染の終息の兆しが見えないが、この新型コロナ禍で文具店、文具売場に行く回数が減ったという人が3割を超えた。これは文房具屋さんドットコム（以下ドットコム）のアンケート調査の結果で、ネット通販での文具購入も18.7%の人が増えたと同様、コロナ禍で文具店への影響が鮮明に出ている結果となった。

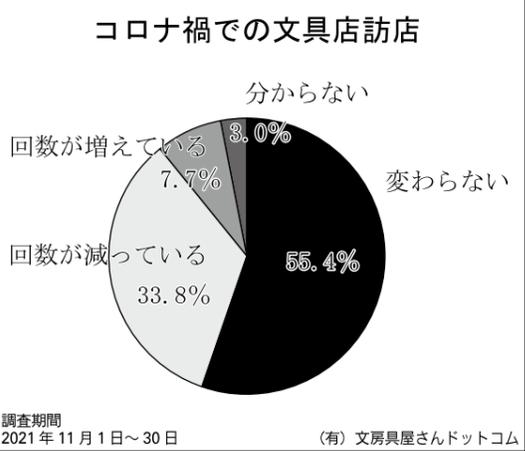
ネット利用も増加

文具購入 主な文具店と百貨店が拮抗 買い場

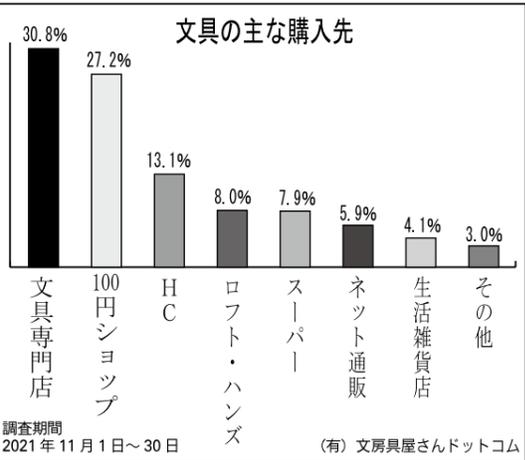
アンケート調査は、2021年11月1日～30日に実施、有効回答は801件。

①新型コロナウイルス禍で文具店、文具売場に行くことは変化はありますか？②文具は主にどこで購入していますか？③文具の購入でネット通販の利用が増えましたか？④今回の新型コロナ禍でライフスタイルや商品購入に変化はありましたか？

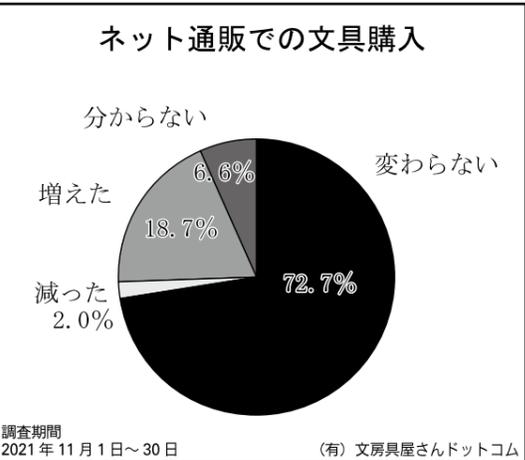
その結果、①の新型コロナウイルス禍で文具店、文具売場に行くことは変化については、半数以上の55.4%の人が「変わらない」と回答したものの、33.8%の人が「回数が減った」と回答、来店への影響があった。



調査期間 2021年11月1日～30日 (有) 文房具屋さんドットコム



調査期間 2021年11月1日～30日 (有) 文房具屋さんドットコム



調査期間 2021年11月1日～30日 (有) 文房具屋さんドットコム

文房具屋さんドットコム

寄せられたユーザーの声

②の主に文具はどこで購入するかについては、回答者の30.8%が文具専門店と回答して最も多く、次いで27.2%が100円ショップとなり、文具専門店と100円ショップで60%近くを占める結果となった。

③のネット通販での文具購入が増えたかについては、72.7%が「変わらない」と回答して最も多かったが、18.7%、2割近い人が「増えた」と回答、来店への影響があった。

◆文具関連のユーザーに関する変化
 ◆子どもがおうちで過ごす時間を増え、お絵描き帳、色鉛筆、クレヨン、はさみ、折り紙、シールなどの購入が増えました（大阪府・主婦・女性・33歳）
 ◆子どもが楽しんでいた塗り絵と折り紙に私がはまり、楽しんでます（栃木県・主婦・女性・33歳）
 ◆手紙を書く機会が増え、色々な便箋を買うようになりました（埼玉県・主婦・36歳）
 ◆何故か、ノートの購入が増えました（群馬県・パート・女性・44歳）
 ◆書類を郵送することが多くなり、書きやすいペンなどが増えました（神奈川県・主婦・31歳）
 ◆折り紙、マスキングテープ、スタンプなどを使って、ブックカバー作りをはじめました（東京都・主婦・35歳）

◆在宅時間が増えたこと、仕事に使うボールペンを買い替える機会が多くなりました（静岡県・主婦・36歳）
 ◆手書きに関心が向くようになり、静岡県・パート・女性・28歳
 ◆外出自粛で折り紙の購入が増えました（神奈川県・パート・女性・63歳）
 ◆直接会えない人に手紙を送るようになり、手紙の書き味を気にするようになりました（北海道・自営業・男性・46歳）
 ◆ユーザーで普段使わない画材を使用したメイキング動画を見ようになり、画材を買うことが増えました（北海道・その他・女性・24歳）
 ◆テレワーク普及の変化
 ◆自宅で仕事をする機会が増え、家庭用の複合機、コピー用紙、資料を綴るためのバインダーも購入しました（広島県・会社員・女性・39歳）
 ◆テレワークで使う文具関連の購入が増えました（栃木県・会社員・男性・45歳）
 ◆在宅勤務で使う付箋やメモ帳を買い増しました（石川県・会社員・女性・53歳）

◆在宅時間が増えたこと、仕事に使うボールペンを買い替える機会が多くなりました（静岡県・主婦・36歳）
 ◆手書きに関心が向くようになり、静岡県・パート・女性・28歳
 ◆外出自粛で折り紙の購入が増えました（神奈川県・パート・女性・63歳）
 ◆直接会えない人に手紙を送るようになり、手紙の書き味を気にするようになりました（北海道・自営業・男性・46歳）
 ◆ユーザーで普段使わない画材を使用したメイキング動画を見ようになり、画材を買うことが増えました（北海道・その他・女性・24歳）
 ◆テレワーク普及の変化
 ◆自宅で仕事をする機会が増え、家庭用の複合機、コピー用紙、資料を綴るためのバインダーも購入しました（広島県・会社員・女性・39歳）
 ◆テレワークで使う文具関連の購入が増えました（栃木県・会社員・男性・45歳）
 ◆在宅勤務で使う付箋やメモ帳を買い増しました（石川県・会社員・女性・53歳）

◆在宅時間が増えたこと、仕事に使うボールペンを買い替える機会が多くなりました（静岡県・主婦・36歳）
 ◆手書きに関心が向くようになり、静岡県・パート・女性・28歳
 ◆外出自粛で折り紙の購入が増えました（神奈川県・パート・女性・63歳）
 ◆直接会えない人に手紙を送るようになり、手紙の書き味を気にするようになりました（北海道・自営業・男性・46歳）
 ◆ユーザーで普段使わない画材を使用したメイキング動画を見ようになり、画材を買うことが増えました（北海道・その他・女性・24歳）
 ◆テレワーク普及の変化
 ◆自宅で仕事をする機会が増え、家庭用の複合機、コピー用紙、資料を綴るためのバインダーも購入しました（広島県・会社員・女性・39歳）
 ◆テレワークで使う文具関連の購入が増えました（栃木県・会社員・男性・45歳）
 ◆在宅勤務で使う付箋やメモ帳を買い増しました（石川県・会社員・女性・53歳）

◆在宅時間が増えたこと、仕事に使うボールペンを買い替える機会が多くなりました（静岡県・主婦・36歳）
 ◆手書きに関心が向くようになり、静岡県・パート・女性・28歳
 ◆外出自粛で折り紙の購入が増えました（神奈川県・パート・女性・63歳）
 ◆直接会えない人に手紙を送るようになり、手紙の書き味を気にするようになりました（北海道・自営業・男性・46歳）
 ◆ユーザーで普段使わない画材を使用したメイキング動画を見ようになり、画材を買うことが増えました（北海道・その他・女性・24歳）
 ◆テレワーク普及の変化
 ◆自宅で仕事をする機会が増え、家庭用の複合機、コピー用紙、資料を綴るためのバインダーも購入しました（広島県・会社員・女性・39歳）
 ◆テレワークで使う文具関連の購入が増えました（栃木県・会社員・男性・45歳）
 ◆在宅勤務で使う付箋やメモ帳を買い増しました（石川県・会社員・女性・53歳）

◆在宅時間が増えたこと、仕事に使うボールペンを買い替える機会が多くなりました（静岡県・主婦・36歳）
 ◆手書きに関心が向くようになり、静岡県・パート・女性・28歳
 ◆外出自粛で折り紙の購入が増えました（神奈川県・パート・女性・63歳）
 ◆直接会えない人に手紙を送るようになり、手紙の書き味を気にするようになりました（北海道・自営業・男性・46歳）
 ◆ユーザーで普段使わない画材を使用したメイキング動画を見ようになり、画材を買うことが増えました（北海道・その他・女性・24歳）
 ◆テレワーク普及の変化
 ◆自宅で仕事をする機会が増え、家庭用の複合機、コピー用紙、資料を綴るためのバインダーも購入しました（広島県・会社員・女性・39歳）
 ◆テレワークで使う文具関連の購入が増えました（栃木県・会社員・男性・45歳）
 ◆在宅勤務で使う付箋やメモ帳を買い増しました（石川県・会社員・女性・53歳）

◆在宅時間が増えたこと、仕事に使うボールペンを買い替える機会が多くなりました（静岡県・主婦・36歳）
 ◆手書きに関心が向くようになり、静岡県・パート・女性・28歳
 ◆外出自粛で折り紙の購入が増えました（神奈川県・パート・女性・63歳）
 ◆直接会えない人に手紙を送るようになり、手紙の書き味を気にするようになりました（北海道・自営業・男性・46歳）
 ◆ユーザーで普段使わない画材を使用したメイキング動画を見ようになり、画材を買うことが増えました（北海道・その他・女性・24歳）
 ◆テレワーク普及の変化
 ◆自宅で仕事をする機会が増え、家庭用の複合機、コピー用紙、資料を綴るためのバインダーも購入しました（広島県・会社員・女性・39歳）
 ◆テレワークで使う文具関連の購入が増えました（栃木県・会社員・男性・45歳）
 ◆在宅勤務で使う付箋やメモ帳を買い増しました（石川県・会社員・女性・53歳）

◆在宅時間が増えたこと、仕事に使うボールペンを買い替える機会が多くなりました（静岡県・主婦・36歳）
 ◆手書きに関心が向くようになり、静岡県・パート・女性・28歳
 ◆外出自粛で折り紙の購入が増えました（神奈川県・パート・女性・63歳）
 ◆直接会えない人に手紙を送るようになり、手紙の書き味を気にするようになりました（北海道・自営業・男性・46歳）
 ◆ユーザーで普段使わない画材を使用したメイキング動画を見ようになり、画材を買うことが増えました（北海道・その他・女性・24歳）
 ◆テレワーク普及の変化
 ◆自宅で仕事をする機会が増え、家庭用の複合機、コピー用紙、資料を綴るためのバインダーも購入しました（広島県・会社員・女性・39歳）
 ◆テレワークで使う文具関連の購入が増えました（栃木県・会社員・男性・45歳）
 ◆在宅勤務で使う付箋やメモ帳を買い増しました（石川県・会社員・女性・53歳）

◆在宅時間が増えたこと、仕事に使うボールペンを買い替える機会が多くなりました（静岡県・主婦・36歳）
 ◆手書きに関心が向くようになり、静岡県・パート・女性・28歳
 ◆外出自粛で折り紙の購入が増えました（神奈川県・パート・女性・63歳）
 ◆直接会えない人に手紙を送るようになり、手紙の書き味を気にするようになりました（北海道・自営業・男性・46歳）
 ◆ユーザーで普段使わない画材を使用したメイキング動画を見ようになり、画材を買うことが増えました（北海道・その他・女性・24歳）
 ◆テレワーク普及の変化
 ◆自宅で仕事をする機会が増え、家庭用の複合機、コピー用紙、資料を綴るためのバインダーも購入しました（広島県・会社員・女性・39歳）
 ◆テレワークで使う文具関連の購入が増えました（栃木県・会社員・男性・45歳）
 ◆在宅勤務で使う付箋やメモ帳を買い増しました（石川県・会社員・女性・53歳）

◆在宅時間が増えたこと、仕事に使うボールペンを買い替える機会が多くなりました（静岡県・主婦・36歳）
 ◆手書きに関心が向くようになり、静岡県・パート・女性・28歳
 ◆外出自粛で折り紙の購入が増えました（神奈川県・パート・女性・63歳）
 ◆直接会えない人に手紙を送るようになり、手紙の書き味を気にするようになりました（北海道・自営業・男性・46歳）
 ◆ユーザーで普段使わない画材を使用したメイキング動画を見ようになり、画材を買うことが増えました（北海道・その他・女性・24歳）
 ◆テレワーク普及の変化
 ◆自宅で仕事をする機会が増え、家庭用の複合機、コピー用紙、資料を綴るためのバインダーも購入しました（広島県・会社員・女性・39歳）
 ◆テレワークで使う文具関連の購入が増えました（栃木県・会社員・男性・45歳）
 ◆在宅勤務で使う付箋やメモ帳を買い増しました（石川県・会社員・女性・53歳）



新型コロナウイルス感染拡大を背景として、自宅で仕事を増やす機会が増えている。コクヨが行った調査（2021年3月）によると、週1回以上在宅ワークをしている人のうち、タイピングやリビンクなど、共有スペースで働いている人は55.5%と、半数以上を占めることが分かった。また、共有スペースで働く困難な状況として、「食事など」その都度片付けするのを出たり片付けたりするのが面倒、「仕事道具が目に入ると終業後もリラックスできず、オンとオフの切り替えができない」などが挙げられた。

◆在宅時間が増えたこと、仕事に使うボールペンを買い替える機会が多くなりました（静岡県・主婦・36歳）
 ◆手書きに関心が向くようになり、静岡県・パート・女性・28歳
 ◆外出自粛で折り紙の購入が増えました（神奈川県・パート・女性・63歳）
 ◆直接会えない人に手紙を送るようになり、手紙の書き味を気にするようになりました（北海道・自営業・男性・46歳）
 ◆ユーザーで普段使わない画材を使用したメイキング動画を見ようになり、画材を買うことが増えました（北海道・その他・女性・24歳）
 ◆テレワーク普及の変化
 ◆自宅で仕事をする機会が増え、家庭用の複合機、コピー用紙、資料を綴るためのバインダーも購入しました（広島県・会社員・女性・39歳）
 ◆テレワークで使う文具関連の購入が増えました（栃木県・会社員・男性・45歳）
 ◆在宅勤務で使う付箋やメモ帳を買い増しました（石川県・会社員・女性・53歳）

◆在宅時間が増えたこと、仕事に使うボールペンを買い替える機会が多くなりました（静岡県・主婦・36歳）
 ◆手書きに関心が向くようになり、静岡県・パート・女性・28歳
 ◆外出自粛で折り紙の購入が増えました（神奈川県・パート・女性・63歳）
 ◆直接会えない人に手紙を送るようになり、手紙の書き味を気にするようになりました（北海道・自営業・男性・46歳）
 ◆ユーザーで普段使わない画材を使用したメイキング動画を見ようになり、画材を買うことが増えました（北海道・その他・女性・24歳）
 ◆テレワーク普及の変化
 ◆自宅で仕事をする機会が増え、家庭用の複合機、コピー用紙、資料を綴るためのバインダーも購入しました（広島県・会社員・女性・39歳）
 ◆テレワークで使う文具関連の購入が増えました（栃木県・会社員・男性・45歳）
 ◆在宅勤務で使う付箋やメモ帳を買い増しました（石川県・会社員・女性・53歳）

◆在宅時間が増えたこと、仕事に使うボールペンを買い替える機会が多くなりました（静岡県・主婦・36歳）
 ◆手書きに関心が向くようになり、静岡県・パート・女性・28歳
 ◆外出自粛で折り紙の購入が増えました（神奈川県・パート・女性・63歳）
 ◆直接会えない人に手紙を送るようになり、手紙の書き味を気にするようになりました（北海道・自営業・男性・46歳）
 ◆ユーザーで普段使わない画材を使用したメイキング動画を見ようになり、画材を買うことが増えました（北海道・その他・女性・24歳）
 ◆テレワーク普及の変化
 ◆自宅で仕事をする機会が増え、家庭用の複合機、コピー用紙、資料を綴るためのバインダーも購入しました（広島県・会社員・女性・39歳）
 ◆テレワークで使う文具関連の購入が増えました（栃木県・会社員・男性・45歳）
 ◆在宅勤務で使う付箋やメモ帳を買い増しました（石川県・会社員・女性・53歳）

◆在宅時間が増えたこと、仕事に使うボールペンを買い替える機会が多くなりました（静岡県・主婦・36歳）
 ◆手書きに関心が向くようになり、静岡県・パート・女性・28歳
 ◆外出自粛で折り紙の購入が増えました（神奈川県・パート・女性・63歳）
 ◆直接会えない人に手紙を送るようになり、手紙の書き味を気にするようになりました（北海道・自営業・男性・46歳）
 ◆ユーザーで普段使わない画材を使用したメイキング動画を見ようになり、画材を買うことが増えました（北海道・その他・女性・24歳）
 ◆テレワーク普及の変化
 ◆自宅で仕事をする機会が増え、家庭用の複合機、コピー用紙、資料を綴るためのバインダーも購入しました（広島県・会社員・女性・39歳）
 ◆テレワークで使う文具関連の購入が増えました（栃木県・会社員・男性・45歳）
 ◆在宅勤務で使う付箋やメモ帳を買い増しました（石川県・会社員・女性・53歳）

文具知識能力検定
 受験料無料
 4月15日 Web本試験実施日
 2022年4月15日(金) 午前10時～
 2022年4月18日(月) 午後5時まで

文具業界の活性化と文具ファン拡大を目的に、有限会社文房具屋さんドットコムが運営し、文具専門紙誌5社社長の監修による「文具知識能力検定」が、4月15日（金）午前10時から18日（月）午後5時まで実施される。

本試験は事前申し込みが必要で、3月29日午前10時から4月14日午後5時まで受け付ける。受験申し込みを行うと、ログインIDとパスワードが交付される。

本試験の出題数は50問で、制限時間は30分。80点以上（40問正解）を合格として即座に採点し、合格、不合格を判定して表示する。

設問内容は、過去の模擬試験で出題した問題を中心に、文具・事務用品・紙製品など、製品についての一般的な知識、歴史から、製品の規格・呼称、商品ブランドについてなど、総合的な設問で構成される。

なお、4月1日～4月13日までWeb上でトレーニングページを開講する。

受験料は無料だが、合格者が合格認定証を希望する場合は「有料（税込3,000円）」で発行する。

文具検定サイト
<https://www.bungukentei.jp/>